

# あしがら

第8号(臨時号) 平成28年11月7日

## 「平成28年度全国学力・学習状況調査」からみえる足柄小の子ども

全国学力・学習状況調査の結果について、小山町として検証を行い保護者向けにリーフレット「小山町の教育」を作成されました。

本校でも文部科学省からの結果と小山町による検証結果を受け、成果と課題を分析し、更なる学力向上に取り組む手立てを講じて行きたいと考えています。

この調査の目的の一つは「学校における児童への教科指導の充実や学習状況の改善策に役立てる」ことにあります。「県平均や全国平均を上回って良かった」と結果に一喜一憂するのが趣旨ではありません。

### 本校の全体的な傾向

調査実施教科においては、概ね学習の定着が図られていました。本校の特徴は、国語でも算数でもB問題(主として活用)の正答率が高い傾向があります。このことは、子どもたちの学習が、受け身的な学習から積極的な学習へ変換しつつあることを示しています。また、無解答も少なく問題に対して意欲的に取り組む姿勢が伺えます。



### 実施教科ごとの分析(成果と課題)

## 国 語

○成果	●課題
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 漢字の読み書きがよくできています。特にとめ、はね、はらいが正確に書けています。</li><li>○ 話したり聞いたりする能力が高いです。相手の話していること理解し、そこから自分の考えを言葉で伝える能力が育ってきています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ローマ字表記に若干の問題が見られました。「ん」を表す場合「n」を2回続けて書くなどパソコンでのキーボード打ちと混乱している子がいました。</li><li>● 文章の読み取りはできているが、資料やグラフなどからの読み取りが充分ではありませんでした。</li></ul>

### <対策>

- ・ ローマ字については、高学年になっても定期的に活用する場面を作り、復習していきます。
- ・ 社会科などの他教科においても、文章と図やグラフの対応や比較等、「資料やグラフからどのようなことが分かるか」を考える活動を多く取り入れます。

## 算 数

○成果	●課題
○ 基本的な計算や、計算問題の答えを確かめる方法が定着しています。	● 小数で割った数の大きさを類推する問題に課題が見られました。(小山町と同じ結果)
○ 数量や図形についての知識・理解を問う問題を解く力が定着しています。	● 問題文や資料から必要な数値を見つけだし、問題を解決するための式を作ることや、式の表す意味を考えることが苦手です。
<p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を図で表したり、具体物を操作したりするなどして、問題の内容を正しく理解できるようにします。</li> <li>・身の回りにあることを、算数に関連付けて考えられるような教材を扱い、日常生活に見られる算数的な見方や考え方を育てていきます。</li> </ul>	

## 生活や学習の状況

○良いところ	●改善したいところ
○ 朝食をしっかり食べている子がほとんどです。	● TV、DVDの視聴時間が長いです。(小山町と同じ結果)
○ 家族と学校の話をよくしている子が多いです。	● 就寝時間が不規則で、夜更かしをする子がやや多いようです。
○ 学校が楽しいと思っている子がほとんどです。	
<p>&lt;考察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から帰った後の時間の使い方を工夫し、予習や復習、読書の時間を増やせるといいでしょう。</li> <li>・地域の行事に目的意識をもって参加したり家の手伝いをしたりするなどして、いろいろな経験を積むことで人間性や社会性が高まると思います。</li> </ul>	

## 授業の改善・充実に向けて

- ◎ 計算、漢字ドリル大会など基礎的・基本的な学力の定着を図る取り組みは、今後とも継続していきます。また、資料集や新聞記事を活用した学習を国語の授業以外でも行い、資料や長い文章を読み取る力を育てていきます。
- ◎ 「なぜそうなるのか」を根拠を示しながら説明したり、自分の考えを相手にわかりやすく伝えたりする場面を、授業の中に多く取り入れていきます。
- ◎ 子どもの思考・問題意識を大切に、今後も各時間のねらいを明確にした授業を進めていきます。
- ◎ 読書好きな子どもが多いので、本を読む時間を確保します。また、いろいろなジャンルの本にも興味をもてるように、本の紹介をしたりや図書館の蔵書量を増やしたりします。